

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		鶴川女子短期大学			設置者名		学校法人 明泉学園		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成27年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
	幼児教育学科	150人	幼二種免	昭和43年度	131人	90人	90人	17人	
入学定員合計		150人	合計		131人	90人	90人	17人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成28年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成28年7月5日（火）

実地視察大学：鶴川女子短期大学

実地視察委員：酒井朗委員，岩立京子委員，赤沢早人委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、おおむね問題無く実施されている。
- ただし一部の教育課程について、「2.」で指摘するように、教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等の観点から是正すべき点が確認されたため、その点については、速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想を示しているが、それを具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。具体的には、教職に関する全学組織で定められた教育課程の編成方針のもと、その内容の点検・検討ができるような体制・仕組みの構築が必要であるため、現在のカリキュラム委員会の体制強化を図っていただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 幼児教育学科は、幼稚園の教員養成を主たる目的としている学科であるため、今後、学位プログラムと教職課程の体系性について見直しを検討いただきたい。
- 教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目や、科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように、内容を再度検討すること。なお、シラバスの記載内容及び記載方針を定め、法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 教職に関心のある学生が早い段階から教職の魅力や教員としての適性等を把握する観点から、「教職に関する科目」中の「教職の意義等に関する科目」の配当年次について検討いただきたい。

3. 教育実習の取組状況

- ほとんどの学生が、大学の近隣の幼稚園において教育実習を行っているほか、教育実習先に担当指導教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている状況が確認された。
- 遠隔地での実習についても、電話による指導ではなく、巡回指導を行うことが望まれる。
- 今後は、大学の教員養成理念により合致した実習協力園を選定するなど、より質の高い実習への取組を期待したい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 担任制による個別指導や、実習センター職員に教員経験者を常駐させて学習指導案作成の個別指導を行うなど、きめ細やかな履修指導を行っていることが確認された。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- ボランティア活動を単位化するなど、積極的に取り組んでいることが確認された。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 保育内容（環境）で使用する実験室、幼児造形室、音楽室及び29のピアノ室を備えるなど、非常に充実した施設・設備が確認された。
- 図書については、紙芝居などの実習で使用する教材関係の図書が充実していることが確認された。今後は、幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領や解説書、初等教育資料など教育に関する最新の情報を取り扱う雑誌を充実させるとともに、学生が利用しやすい場所へ配架するなど、図書館環境の充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 構内に庭園（畑）を備え、保育内容（環境）の指導などにおいて積極的に活用していることが確認された。今後とも、キャンパスの環境を生かし、更なる充実に期待したい。